

2016年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	文学部
評価基準4	教育内容・方法・成果
中項目 4-1	教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 【自己評定 A】
点検・評価項目(1)	4-1-1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
評価の視点	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示
	教育目標と学位授与方針との整合性
	修得すべき学習成果の明示
点検・評価項目(2)	4-1-2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
評価の視点	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示
	科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
点検・評価項目(3)	4-1-3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
評価の視点	周知方法と有効性
	社会への公表方法
点検・評価項目(4)	4-1-4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-1-1	<p>文学部は、学部の教育研究上の目的に基づき、以下のように学位授与方針を定めている。</p> <p>文学部は、所定の単位を取得し、以下のような能力を備えていると認められる学生に卒業を認定し、学士（日本文学・中国学・英米文学・教育学・書道学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人文諸科学に関する学識を修め、人間や世界に対する柔軟な想像力と洞察力を持つことができる。 2. 各学科で学んだそれぞれの専門性を生かし、社会において真摯に課題に取り組み、解決しようと努力することができる。国際社会に対する広い識見をもとに、周囲と力を合わせ、未来を創造していく過程に参加することができる。 3. 国際社会に対する広い識見をもとに、周囲と力を合わせ、未来を創造していく過程に参加することができる。
4-1-2	<p>文学部は、教育目標と学位授与方針を踏まえて、学部の教育課程の編成・実施方針を、以下のように定めている。</p> <p>文学部では、ディプロマ・ポリシーを踏まえて、以下のようなカリキュラム編成を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最初に、多様な現代社会に対応できるように、学部・学科を越えた全学共通科目として自然・社会・人文諸科学の各科目を学ぶ。さらに基礎教育科目としての外国語科目・情報処理科目等、また、キャリア・ジェンダー・芸術（創作を含む）といった現代社会において必須とされる諸科目を学び、各専門科目への基礎を築く。 2. 次に、日本文学科・中国学科・英米文学科・教育学科・書道学科の五学科それぞれの基礎科目と専門科目を学ぶ。それらは各学科において体系的にカリキュラムが組まれている。 3. 各学科においては、少人数制のゼミや実践研究における課題に取り組むことによって、資料・情報の分析・読解能力、批評能力、自己表現能力、コミュニケーション能力、創造的実践能力の育成が目指されている。 4. さらに各学科において、卒業論文や卒業制作、研究テーマへの総合的取り組みが、個別的指導のもとに行われる。 <p>科目区分、必修・選択の別、単位数等は、学則および『文学部履修の手引』等で明示している（A4-1-1 第23条の4～6、A4-1-7 p.36～p.92、B4-1-12 d2-表 21）。</p>
4-1-3	<p>学部の教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針は、ホームページ、『文学部履修の手引』に掲載し、周知が図られている（B4-1-2、A4-1-7 p.2）。各学科の学位授与方針、教育課程の編成・実施方針は、『文学部履修の手引』、受験生向けの『大学案内（CROSSING）』に掲載され、ホームページでも公開されている（A4-1-4 p.034、P.037、p.040、p.043、p.046、p.049、p.052、p.055、p.058、p.061、A4-1-7 p.25、p.37、p.47、p.61、p.73、B4-1-12 d2-表 1）。</p>
4-1-4	<p>文学部は、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、毎年度の自己点検・評価活動で検証を行ってきた（B4-1-6）。組織としては、五学科の学科協議会、文学部教務委員会、文学部主任会議、文学部教授会の順に検討・協議し、検討や修正が行われる体制になっている。</p>

【効果が上がっている事項】

4-1-1	
4-1-2	
4-1-3	
4-1-4	

【改善すべき事項】

4-1-1	
4-1-2	
4-1-3	
4-1-4	学位授与方針、教育課程の編制方針について、定期的に検証を行う必要がある。

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

A4-1-1	大東文化大学学則	《既出》A1-1
A4-1-4	大学案内「CROSSING2016」	《既出》A1-6
A4-1-7	文学部 履修の手引き 平成 27（2015）年度入学生用	《既出》A1-9
B4-1-2	大学ホームページ（情報公開）	http://www.daito.ac.jp/information/open/index.html 《既出》B1-6
B4-1-6	大学ホームページ（自己点検・評価活動）	http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html 《既出》B1-16
B4-1-10	2015 年度第 1 回文学部教授会議事録	
B4-1-12	大学データ集	《既出》B1-22
〔追加資料〕		

Ⅲ 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	4-1-4 毎年、年度初めにおける教務委員会において、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）の検証を行う。	文学部教務委員会において検証が行われている。			A		
14 年度 目標	4-1-4 毎年、年度初めにおける教務委員会において、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）の検証を行う。	文学部教務委員会において検証が行われている。	A				
15 年度 目標	4-1-4 毎年、年度初めにおける教務委員会において、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）の検証を行う。	文学部教務委員会において検証が行われている。		A			
16 年度 目標	4-1-4 毎年、年度初めにおける教務委員会において、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）の検証を行う。	文学部教務委員会において検証が行われている。			A		